



住所：東京都渋谷区本町3-48-5
Tel：03-6826-5941
www.u-ma.jp
設計・オフィスデザイン：
宮田一彦アトリエ (www.m-atelier.jp)

1軒家の安心感が残る吹き抜け空間

U-MA



UMAの代表兼アートディレクターの藤井「華丸」智裕さん。もたれている手すりは基礎材として使われる鉄骨。梁を見せているのと同様、壁の内部を見せている

1階、2階とも 棚とデスクは作り付け

2階はクリエイターのためのレンタルスペース。机と棚は1階と同じ仕様。広くて使いやすいからと、藤井さんは2階の窓側の席を占拠している



1.軽自動車なら2台停められるくらいの間口。奥行きもたっぷり。2.1階のワークスペース。この手前が吹き抜け3.2階から下を眺める。1階のミーティングスペース横にはテラスもある。4.平屋の離れは土間に。撮影スタジオをとして使用されている。6.この建物は2世帯住宅。1階のキッチンがカウンターバーに改装。アルコールがずらり

チェアはココヨ製

オフィスチェアは、数年前にグッドデザイン賞を授賞した「AGATA/S」。背中をしっかりサポートするリクレーニング機能は抜群だという

築 40年の庭付き一軒家。この場所にオフィスを構えたのは約1年前。それまでのオフィスが手狭になりリノベーションができる物件を探していた。ここは不動産を通じて巡り会ったのだという。

オフィスのシンボルは、2階までの吹き抜けと赤い柱。これは映画「2001年宇宙への旅」に登場する地球外知的生命の道具「モノリス」がモチーフ。会社名も「Identified Mysterious Animal (未確認動物) の略」。

「モノづくりをする上で概念を超越した何かを創造していく発信源、という想いが込められています」とアートディレクターの藤井「華丸」智裕さん。

吹き抜けを見上げると、この建物を支え続けた太い梁や木の香りが漂う形のフローリング、ベニヤを3枚張り合わせた合板のデスクや棚など新旧さまざまな木材が使用されているのがわかる。キッチンに取り付けられたカウンターバーやベンチは鉄。木材特有の温もりある空気感を異素材の鉄が引き締めている。

ときどき、庭でハイキューをしたり、バーで客人をもてなしたりもする。少年のような大人。がこだわって作った仕事場は、遊び場としても機能する。もちろん、その全てが本物仕様。大人の自由が満喫できる、そんなオフィス。